

令和元年度第2回新潟県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会開催概要

- 1 開催日時 令和2年2月3日(月) 13:30~15:30
- 2 開催場所 新潟職業能力開発促進センター
- 3 主な議題
 - イ 令和元年度事業実施状況について
 - ロ 令和2年度事業計画について
 - ハ その他
- 4 議事経過
資料に沿って事務局から説明が行われた後、意見交換が行われた。主な意見は以下のとおり。

(高度技能者養成訓練について)

- ・中途採用者だけでなく新卒者においても、自分のキャリアの棚卸を習慣づける上でもジョブ・カードの活用は大事である。
- ・2年間の専門課程だけでなく、大学校の応用課程に進学することもでき、さらに職業訓練指導員になれる道もあるということを知らない人が多いため、そこがしっかり伝わるといいのではないか。
- ・他の大学の例だが、高校1年生でオープンキャンパスに来て、その時点で進路を決めた学生もいるため、早期に囲い込みをするという戦略もあるのではないか。

(在職者に対する職業訓練について)

- ・受講者の新規開拓にあたり、これまで受講した企業の担当者に、忙しい業務の合間を縫って受講者を出すにはどのような形を取ればよいかヒアリングし、それを踏まえた設定や広報をするとよいのではないか。
- ・規模の小さい企業ほど訓練に時間を割くのが難しいのは、生産性向上やIT活用のニーズがあることの裏返しでもあるので、受講できる工夫ができればよいと思う。また、生産性向上に直結するRPAについてのコース設定があってもいいと思う。

(離職者訓練と在職者訓練の連携について)

- ・離職者訓練で定員充足率が低く、就職率が高い科について、ここから企業の人手不足が推測され、生産性向上のニーズを見いだせる可能性がある。離職者訓練の後、生産性を上げる在職者訓練をセットで実施すると、在職者訓練の受講者も増やせるのではないか。

新潟県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会 委員名簿

| | |
|-----------|------------------------------|
| 鯉江 康正(会長) | 長岡大学副学長、経済経営学部教授 |
| 逸見 志朗 | 新潟労働局職業安定部長 |
| 鈴木 克己 | 新潟県産業労働部職業能力開発課長 |
| 長谷川 亨 | 長岡市商工部長 |
| 小林 俊夫 | 日本労働組合総連合会新潟県連合会事務局長 |
| 丸山 さつき | 日本労働組合総連合会新潟県連合会執行委員 |
| 西澤 保文 | 日本基幹産業労働組合連合会北越メタル労働組合副執行委員長 |
| 徳武 裕一 | 一般社団法人新潟県経営者協会専務理事 |
| 名古屋 祐三 | 新潟県中小企業団体中央会専務理事 |
| 北山 晃也 | 一般社団法人新潟県商工会議所連合会事務局長 |
| 土田 義則 | 新潟県商工会連合会事務局長 |